

地域避難計画

郷荘中学校区



毎年〇月〇日に備蓄品の点検をします！

防災情報

いすみメール

避難情報、避難所、気象情報などの防災情報をお知らせいたします。
右下の二次元コードを読み取る、または
izumimail@safe.city.izumi.osaka.jp
に空メールを送信して下さい。



和泉市公式LINE

災害やコロナ関連などの緊急情報を発信しています。
右下の二次元コードを読み取る、または
メニューの「友だち追加」でID検索を選択して
ID @izumi-city と入力して検索して下さい。



キキクル（危険度分布）

雨による災害の危険度を地図上でリアルタイムに確認できます。
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



デジタル防災行政無線（同報系）

- 災害時の情報伝達手段の強化のため、屋外スピーカー及び屋内受信機により、音声による情報発信を行っています。（平成27年3月整備）
- 防災行政無線の放送は、気象条件や環境の違い（家の構造や周辺の交通量など）によって、聞き取りにくいことがあります。
- 防災行政無線からの情報は繰り返し放送されますが、放送を聞き逃してしまった場合、もしくはもう一度放送内容を確認したい場合に電話で確認することができます。

防災行政無線を聞き逃してしまったら... ☎0725-47-4771

1 自分の避難先を考えよう！

スタート!! ハザードマップで自宅を探してみよう！

ハザードマップのリンク集



自宅、または自宅付近で危険な区域※はありますか？

※地図に赤色や黄色などで着色されている場所は災害が発生するおそれの高い区域です。（着色の凡例は地図によって異なります）

危険だと思う災害（ ）

災害の危険があります

自宅外の安全が確保されている場所へ早めに避難しましょう。

1 在宅避難

例外

安全が確保されている場合は自宅に待避しましょう。ただし、**不安を感じた場合は避難所などへ避難**しましょう。



以下のことを満たす場合は状況や安全を確認し、自宅にとどまることも可能です。
・堅牢なマンションの上層階などの安全な場所
・十分な水、食料、生活用品などの備えがある
・停電や断水などに耐えることができる

※自宅がハザードマップで危険な区域になくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにある場合は、**状況に応じて、自宅外への避難を検討**しましょう。

避難所などへの避難が困難な場合

いざというときに安全な場所へ移動できるよう、裏表紙の**マイ・タイムライン**を作成し、**避難のタイミング**を決めておきましょう。

あらかじめ決めた避難所まで**安全に移動できる状況にないとき**、**近くに避難することのできる安全な建物**などはありますか？

はい

いいえ

4 近くの安全な建物などへ避難

自宅から安全に移動できる場所にある近くの堅牢な建物の上層など

5 自宅内のより安全な場所へ避難

自宅内のより安全な場所の例
・最上階の部屋
・2階以上の山の斜面とは反対側の部屋など

安全に移動できない場合の例
・夜間・風雨が強い
・周辺の道路が冠水している
・周辺の川や用水路が増水している

「避難」とは「難」を「避」けることです。

安全な場所にいる人は、避難所などに行く必要はありません。

「自分のいのちは自分で守る」という意識のもと、皆さん一人ひとりが**適切なタイミング**で、**安全な場所**に避難してください。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？



はい

いいえ

安全な場所にある



2 親戚や知人宅へ避難

市が指定する

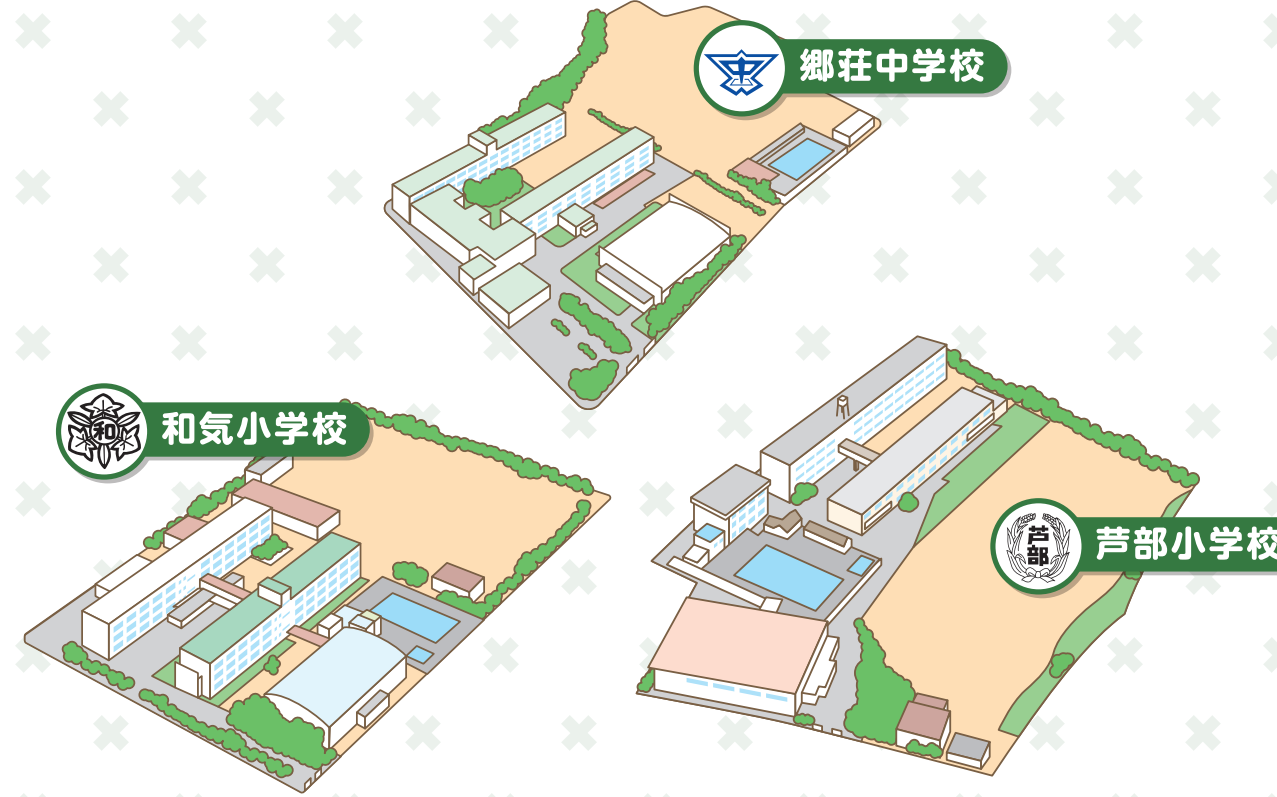
3 避難所へ避難

はい

いいえ

避難する際は、近くの知り合いに避難を呼びかけるなど、**地域の皆さんによる助け合い**をお願いします。

どこに避難しますか？



※上記の指定避難所に限らず、近くの指定避難所へ避難しましょう。

マイ・タイムラインを作成しよう！

2 避難する前の準備を考えよう！

雨が強くなる前に準備

警戒レベル 1 早期注意情報

気象庁が発表

災害への心構えを高める

警戒レベル 2 大雨・洪水・高潮 注意報発表

気象庁が発表

ハザードマップなどを使って避難行動を確認する

警戒レベル 3 高齢者等避難

市が発令

危険な場所から高齢者等避難

警戒レベル 4 避難指示

市が発令

危険な場所から全員避難

3 避難時の注意点などを考えよう！

- テレビやインターネットで避難情報を確認
- 動きやすい服に着替える（靴は運動靴など）
- 近所の高齢者などに声をかける
- 戸締まり、ガスの元栓を閉める、ブレーカーを切る

4 避難方法を考えよう！

いつ（タイミング） 例：〇〇が浸水したら。

なにて（移動手段） ※なるべく速での避難は控えましょう！

どこへ（避難所など） へ逃げます！

移動時間 約 分

和泉市立学校の対応、避難情報と警戒レベルについて

和泉市立学校における警報などの発令が明らかに予測される場合、発令された場合の臨時休業などの判断基準について

時刻	警報など	対応	給食など
前日 14時まで	翌日に「和泉市」に大雨警報、暴風警報または特別警報が発令されることなどが明らかに予測される場合	・市教育委員会から学校へ対応方針を通知 ・学校から保護者へ対応方針を周知（保護者連絡アプリ、紙媒体など） ・市ホームページに対応方針を掲載 (1) 全校計画休業 (2) 全校午後から計画休業（給食なし） (3) 全校午後から計画休業（給食あり） (4) その他	左記対応 (1)(2)の場合は、給食なし
前日 17時まで			
当日 7時まで	登校まで	・全校臨時休業 ・全校臨時休業	給食なし 給食なし
当日 登校後	「和泉市」に大雨警報、暴風警報または特別警報発令	・通学路付近の安全状況、児童生徒の家庭の状況などを把握した上で、速やかに下校。 ・下校させることが危険だと学校が判断した場合は、学校で待機後、保護者へ引渡し。	状況に応じて対応

※大雨警報、暴風警報等の発令などにより、学校が臨時休業となった場合、中学校及び義務教育学校後期課程の部活動は中止とします。
※学校周辺の局地的な豪雨やその他の突発的な災害発生時には、学校ごとに臨時休業などを決定する場合があります。

参考資料「留守家庭児童会」における大雨、暴風警報、特別警報が発令された場合の対応

平日	学校が臨時休業または早退となる場合（大雨警報、暴風警報などの発令が明らかに予測される場合の計画休業を含む。学校からの配信メール、市ホームページなどにて確認してください）	臨時休業
平日	留守家庭児童会開設中に「和泉市」に大雨警報、暴風警報または特別警報が発令された場合	臨時休業（保護者のお迎えが必要）

※臨時休業となる場合は、留守家庭児童会に支援員の配置をしません。 ※臨時休業などの緊急のお知らせは連絡メールにて行います。
※その他児童の安全確保のため、臨時休業とする場合があります。
※台風接近時などには気象情報や市からの連絡メールに注意し、児童が安全に帰宅できるように家庭で話し合っておいてください。

避難情報と警戒レベルについて

避難情報等（警戒レベル）				河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報	浸水の情報（河川）土砂災害の情報（雨）
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報 大雨特別警報（土砂災害）
警戒レベル4までに必ず避難！					
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警戒情報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮 注意報	2相当	氾濫注意情報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	

市長は、河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に**避難情報等（警戒レベル）**発令判断をすることから、**警戒レベル**と警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

地域の助け合いを考えよう！

01 ~ 06 を参考に自分は何ができるか考えよう！

01 一時集合

大地震が発生したら…
まずは**身近な集合場所**に集まろう！（避難所など）

やること

- 集合場所は、**地域で身近な集合場所（避難所など）**を決めておきます。
- 町会・自治会の**班（組）単位**などで**一時的に集合し**、地域の安否確認や消火、救出、情報収集・伝達などを行います。活動しやすい目安は20軒（世帯）前後です。

身近な集合場所

公園 公民館 集積場所 駐車場 空き地など

集合住宅では…

エレベーターホール 棟前

棟前、エレベーターホールなども活用できます。

ポイント！

- 少数グループや階段の区画ごとに行うなど、地域の中で、安否確認の実施範囲を決めておきます。
- いざというときに**助けが必要となる人たち（避難行動要支援者など）**の情報を、地域の中で**日頃から共有**しておきます。

02 安否確認

やること

- 近所の人たちの安否確認（確認内容）
 - 助けが必要/不要
 - 在宅/不在
 - けがの有/無
- 安否情報を市の防災組織などに報告

03 初期消火

やること

- 消火器を持ち寄って素早い消火
- お風呂の残り湯を使った消火
- バケツリレーによる消火

ポイント！

- 自分の安全を最優先に考え、複数の人と協力して行動することが大切です。
- 危険を感じた場合には、無理をせず消火をあきらめて直ちに避難しましょう。

玄関先に消火器を置き、誰もが直ぐに使えるようにすることが有効です！

自分が
できることを
書き込もう！

記入欄

となり近所の助け合い

～みんなで生き残るための取組み～

04 救出

やること

- 【家具や倒壊物の下敷きになった人の救出】
 - 下敷きになった人への**声かけ**
 - ボール、車のジャッキなどを使い、**倒壊物の持ち上げ**
 - 作った隙間から**下敷きになった人の救出**など

ポイント！

- 自分の安全を最優先に考えて、いつもで**逃げられる**ようにしましょう。
- 1人での活動は危険なため、必ず**2人以上で活動**しましょう。

05 応急手当・搬送

やること

- 心肺蘇生とAED
- 出血に対する止血
- やけどに対する手当
- けが人の**搬送**
 - 平地：簡易担架や毛布、人力
 - 階段：車椅子や搬送器具 など

ポイント！

- 搬送する際は、相手に**恐怖感や苦痛を与えない**ようにしましょう。
- 定例から搬送
- 応急手当 直接圧迫止血法

06 情報収集・伝達

やること

- 班（組）単位の**グループ内**で情報収集
- グループで収集した情報を**市の防災組織などに伝達**

グループで収集した情報

安否情報 避難行動要支援者などの有無 被害状況（人、建物など） 火災の有無 情報を伝達 市の防災組織など

ポイント！

- 集めた情報は、**情報収集用の用紙を作成**するなど、漏れのないように記録しましょう。
- 情報の伝達は、地域に応じた手段を使います。

例：私は地域のために災害時〇〇〇〇をします。

この地域避難計画は、4,400部作成し、一部あたりの単価は75円です。